

総合開発特別委員会

令和2年8月18日

報告事項

1 米軍再編に伴う米軍機訓練移転について

- ・「米軍再編に伴う米軍機訓練移転」に関する主な経過について・・・・・・・・ 資料1
- ・千歳基地における米軍再編に係る訓練移転（共同訓練）について・・・・・・・・ 資料2
- ・令和2年8月3日開催の「米軍再編に係る千歳基地への訓練
移転に関する連絡協議会」での要請・要望事項及び回答について・・・・ 資料3
- ・米軍再編に係る嘉手納飛行場及び三沢飛行場から千歳基地への
訓練移転に関する訓練計画概要について・・・・・・・・ 資料4
- ・令和2年8月17日開催の「米軍再編に係る千歳基地への訓練
移転に関する連絡協議会」での要請・要望事項等及び回答について・・・・ 資料5
- ・米軍再編に係る千歳基地への訓練移転対応について・・・・・・・・・・・・ 資料6
- ・米軍再編に係る千歳基地への訓練移転に伴う騒音測定地点について・・・・ 資料7
- ・米軍再編に係る各基地の訓練移転経過について・・・・・・・・・・・・・・ 資料8

「米軍再編に伴う米軍機訓練移転」に関する主な経過

※総合開発特別委員会（令和2年6月18日）以降の経過

令和2年8月3日	「米軍再編に係る千歳基地への訓練移転に関する連絡協議会」開催 (北海道防衛局)
	「千歳基地における米軍再編に係る訓練移転（共同訓練）について」 (概略通知)
	「米軍再編に係る千歳基地への訓練移転に関する連絡会議」としての要 請及び千歳市・苫小牧市からの個別要望
	「第26回 苫小牧市在日米軍再編問題対策会議」開催
令和2年8月4日	商工会議所、町内連合会、警察署、医師会他関係機関へ協力要請
令和2年8月17日	「米軍再編に係る千歳基地への訓練移転に関する連絡協議会」開催 (北海道防衛局)
	「米軍再編に係る嘉手納飛行場及び三沢飛行場から千歳基地への訓練移転に 関する訓練計画概要について」(詳細通知)
	「米軍再編に係る千歳基地への訓練移転に関する連絡会議」としての要 請及び千歳市・苫小牧市からの個別要望及び質問
	「苫小牧市在日米軍再編問題対策会議」部員へ訓練計画概要を周知
	商工会議所、町内会連合会、警察署、医師会他関係機関へ訓練計画概要を周知

令和 2 年 8 月 3 日

北海道防衛局

千歳基地における米軍再編に係る訓練移転(共同訓練)について

米軍再編に係る訓練移転について、現在、千歳基地において 8 月下旬に訓練を実施する方向で日米間で調整中です。

訓練移転の期日、参加部隊等の具体的な計画の概要については、決まり次第、お知らせします。

以 上

令和2年8月3日開催の「米軍再編に係る千歳基地への訓練 移転に関する連絡協議会」での要請・要望事項及び回答

●北海道、千歳市、苫小牧市の三者で構成する

「米軍再編に係る千歳基地への訓練移転に関する連絡会議」としての要請

- 1 土曜日・日曜日及び早朝・深夜の訓練を実施しないことなど、これまでの両市との協議経過を踏まえ、協定の内容を確実に遵守すること。

また、米軍帰還に際しても、土曜日・日曜日及び早朝・深夜に飛行することのないよう配慮すること。

- 2 自衛隊が通常使用している訓練空域や飛行経路、飛行方法によること。

《回答》

①及び②については包括的に回答させていただきます。

千歳基地における訓練移転の実施に当たり、米軍機については、土日・祝日及び早朝・深夜における訓練はもとより、訓練空域、飛行経路及び飛行方法などについても、航空自衛隊と同様の態様となります。

協定についても、平成19年1月に、千歳市及び苫小牧市と締結した「米軍再編に係る千歳基地への訓練移転に関する協定書」の内容を遵守するとともに、これまでの関係自治体との協議・確認事項を踏まえ、訓練移転を実施しています。

また、米軍帰還の際の土日・祝日及び早朝・深夜の飛行につきましては、極力そのようなことが生じないように米側に対し要請しています。

- 3 米軍人の本道滞在中における規律の維持に万全の対応を行うこと。

《回答》

米軍人の本道滞在中における北海道防衛局の対応については、前回と同様、必要に応じてサポートを行い、トラブルの未然防止に努める考えです。

規律の維持についても、防衛省として平素から米側に対し、隊員の教育や綱紀粛正の徹底を図る等、様々なレベルから申し入れを行っており、改めて当局からも米軍に申し入れを行います。

- 4 訓練期間中は、貴局において騒音測定を実施するとともに、できる限り早期に結果を公表すること。

《回答》

訓練期間中における騒音測定については、これまでと同様に実施し、騒音測定結果についても、速やかに公表したいと考えています。

5 訓練の安全管理及び参加する戦闘機の整備・点検など安全確保に万全を期すこと。

《回答》

日米を問わず、訓練に参加する戦闘機については、平素より定期整備、飛行前・飛行後点検等を適正に実施しており、十分な安全を確保していると承知しています。

当局としては、訓練移転の実施に際し、改めて航空機の更なる安全確保について、米側に求めてまいりたいと考えています。

6 説明会や米軍ブリーフィング及び戦闘機見学会の開催など、訓練に関する情報を住民、自治体、報道機関に詳細に提供すること。

《回答》

現在の新型コロナウイルスの状況に鑑み、例年実施してきた飛行隊長へのインタビューや戦闘機見学は計画しておりませんが、当局としては、地元の皆様への情報提供については、大変重要と認識していることから、必要な感染防止策を行った上で、米軍によるブリーフィング及び北海道防衛局による説明会は実施する方向で米軍と調整しているところです。

また、関係自治体や報道機関等への情報提供については、引き続き、お知らせできる情報が得られれば、迅速かつ確実な情報提供に努めてまいります。

7 訓練終了後の「検証」は必ず行うこと。

《回答》

訓練終了後における訓練の状況及び騒音測定結果の「検証」については、これまでと同様、可能な限り対応してまいりたいと考えています。

8 これまで実施された訓練移転によって、沖縄の負担がどの程度軽減されたのか、期限を決めて目に見える形で検証すること。

《回答》

米軍再編に係る訓練移転については、嘉手納飛行場に所在する米軍航空機について、同飛行場周辺の騒音軽減を図るため、本土の関係自治体の皆様の御理解と御協力を得て、平成19年から本土への訓練移転を開始しました。

また、平成23年からグアム等への訓練移転、平成26年6月からは三沢対地射爆撃場を使用した空対地射爆撃訓練をそれぞれ実施しているところです。

これまで千歳、三沢、百里、小松、築城及び新田原の自衛隊施設において、これまで国内で56回、グアム等で49回となり合計で105回実施しております。

これらの訓練移転により、本来であれば嘉手納飛行場で実施予定であった航空機による訓練の一部が本土又はグアム等に移転されることから、同飛行場周辺の住民に対する

騒音の影響が一定程度軽減されているものと考えています。

なお、一例を申し上げれば、グアム等への訓練移転（国内除く）の実施期間中における嘉手納飛行場での騒音値等を比較したところ、

(1) 嘉手納飛行場内の滑走路端の平均WE C PNL値

(滑走路東側)

平成22年度:96.6W

グアム等への訓練移転の実施期間中(平成23年度～令和元年度末)92.1W

(滑走路西側)

平成22年度:93.0W

グアム等への訓練移転の実施期間中(平成23年度～令和元年度末)88.9W

(2) 嘉手納飛行場周辺において目視により確認した1日当たりの平均離着陸等回数

平成22年度:123回

グアム等への訓練移転の実施期間中(平成23年度～令和元年度末)116回

となっています。当局としては今後ともどのような形で関係自治体に情報提供ができるか、本省とも調整しながら検討してまいります。

9 訓練に参加する米軍人の滞在中の行動に関し、新型コロナウイルス感染症拡大が懸念されることのないよう万全を期すこと。

また、感染症に関する情報は、国の責任において、情報収集を行い、適時・適切に公表するとともに、関係自治体に情報提供を行うこと。

《回答》

防衛省としては、今回の訓練において、実効的な感染症防止対策を講じることにより、地元の皆様に不安を抱かせないことが何よりも重要であると考えています。

今般の訓練に際し、具体的には以下の取り組みを実施する予定です。

- ・今回の訓練には、米軍参加者全員がPCR検査を受診の上、陰性が確認された者のみが参加します。
- ・多人数で行動し部外者と接触する機会のある戦闘機見学や飛行隊長へのインタビュー等は今回の訓練では実施しないほか、米軍は、新型コロナウイルス感染防止対策としてマスク着用、ソーシャルディスタンスの確保、消毒の徹底等の必要な措置を講じます。
- ・また、新型コロナウイルス感染症に関連する情報については、日米間の合意に基づき地元保健当局に確実に情報提供するなど、地元自治体への情報提供について、適切に対応してまいります。

●苦小牧市の個別要望

- 1 沖縄の負担軽減について、米軍外来機における飛来訓練等の抑制など、沖縄県の方々が負担軽減を実感できるように努めること。

《回答》

訓練移転により、本来であれば嘉手納飛行場で実施予定であった航空機による訓練の一部が本土又はグアム等に移転されることから、同飛行場周辺の住民に対する騒音の影響が一定程度軽減されているものと考えています。

今後とも米側に対し、飛行場周辺の騒音軽減が図れるよう一層の協力を求めてまいるとともに、訓練移転を積み重ねるなど、可能な限り地元の負担軽減に努めていく考えです。

- 2 千歳基地では、航空機からの部品落下が繰り返し発生していることから、米軍機を含む機体の整備、点検の強化を図るとともに、万が一事故が発生した場合は、原因究明及び再発防止策について速やかに情報提供を行うこと。

《回答》

米軍機の飛行に際しては、安全の確保が大前提であり、引き続き米側に対し、安全面に最大限の配慮を払うとともに、地域住民に与える影響を最小限にとどめるよう求めていく考えです。

なお、千歳基地での訓練移転において米軍戦闘機や輸送機の事故が発生した場合には、その原因及び今後の対応について情報が得られ次第、苦小牧市を含む関係自治体に迅速かつ確実に情報提供できるよう努めてまいります。

- 3 新型コロナウイルスの感染が拡大している中での訓練のため、米軍を含むすべての訓練関係者について、感染防止対策を一層強化するとともに、感染症に関する情報提供を行うこと。

- 4 新型コロナウイルスの感染が確認された場合は、濃厚接触者の特定が必要であることから、訓練関係者の行動記録について、速やかに情報提供を行うこと。

《回答》

③及び④については包括的に回答させていただきます。

防衛省としては、今回の訓練において、実効的な感染症防止対策を講じることにより、地元の皆様に不安を抱かせないことが何よりも重要であると考えています。

新型コロナウイルス感染防止については、米側に対し、ソーシャルディスタンスの確保や消毒の徹底等の必要な措置について、強く求めるとともに、日本側の訓練関係者においても感染防止に万全を期してまいります。

また、新型コロナウイルス感染症に関連する情報については、日米間の合意に基づき地元保健当局に確実に情報提供するなど、地元自治体への情報提供について、適切に対応してまいります。

5 新型コロナウイルスの感染が懸念されるため、米軍人の行動については、任務上必要不可欠なものに留め、不要な外出は控えること。

《回答》

防衛省としては、今回の訓練において、実効的な感染症防止対策を講じることにより、地元の皆様に不安を抱かせないことが何よりも重要であると考えています。

今般の訓練には、米軍が自らPCR検査を実施することから、感染者が訓練に参加することはありませんが、防衛省としては、米側に対し、訓練期間中の新型コロナウイルスの感染防止対策として、任務上必要な場合を除いて、外出を自粛するよう要請を行っています。

(お知らせ)

令和 2 年 8 月 1 7 日
防 衛 省

米軍再編に係る嘉手納飛行場及び三沢飛行場から千歳基地への訓練
移転に関する訓練計画概要について

米軍再編に係る嘉手納飛行場及び三沢飛行場から千歳基地への訓練移転（共同訓練）
に関する訓練計画概要について、以下のとおりとなりましたので、お知らせします。

今回で訓練移転は 107 回目（国内 58 回、グアム等 49 回）となり、国内への訓練
移転は、平成 18 年 5 月の再編の実施のための日米ロードマップに基づき、二国間の相
互運用性の向上及び米軍飛行場の周辺地域における訓練活動の影響を軽減するために行
われるものです。

- 期 間：令和 2 年 8 月 2 4 日（月）～ 8 月 2 8 日（金）
- 参 加 部 隊：〔米軍〕
第 1 8 航空団（嘉手納）、第 3 5 戦闘航空団（三沢）
〔航空自衛隊〕
第 2 航空団（千歳）、第 1 輸送航空隊（小牧）、第 2 輸送航空隊
（入間）、第 3 輸送航空隊（美保）
- 使 用 基 地：千歳基地
- 演 練 項 目：戦闘機戦闘訓練等
- 使用訓練空域：北海道西方空域及び三沢東方空域
- 参 加 規 模：タイプ II
〔米軍〕
F-15×6 機程度、F-16×6 機程度
人員 200 名程度
※人員、物資輸送のため輸送機が期間の前後に飛来する予定
〔航空自衛隊〕
F-15×8 機、C-130×1 機、C-1×1 機、C-2×1
機
- そ の 他：今回の訓練に際し、新型コロナウイルス感染防止対策として以下
の取り組みを実施する予定です。
 - ・米軍訓練参加者は日本に居住しており、全員が PCR 検査を受
診の上、陰性が確認された者のみが参加します。
 - ・基地及び宿泊先のホテル以外の場所へは外出を行わないことで
米側と合意しております。
 - ・多人数で行動し部外者と接触する機会のある戦闘機見学や飛行
隊長へのインタビュー等は実施しません。

※ 本内容については、今後、変更される場合があります。

以 上

令和2年8月17日開催の「米軍再編に係る千歳基地への訓練 移転に関する連絡協議会」での要請・要望事項等及び回答

●北海道、千歳市、苫小牧市の三者で構成する

「米軍再編に係る千歳基地への訓練移転に関する連絡会議」としての要請

連絡会議として、重ねてのお願いとなるが、協定の遵守、訓練情報の提供、新型コロナウイルス感染防止対策の徹底等、先日要請した9項目について、改めてお願いします。

《回答》

本日の連絡協議会を代表して北海道からご要請のありました9項目についての再度の要請につきましては、8月3日(月)の連絡協議会において、お答えさせていただきましたとおりです。

繰り返しになりますが、訓練移転の協定を遵守するとともに、航空機の更なる安全確保、米軍人の規律の保持及び新型コロナウイルス感染防止対策の徹底について、改めて当局から米軍に申し入れを行うこと、米軍と調整し可能な限りの情報提供に努めるなど、これまでと同様、周辺住民の安全・安心のために最大限努力し、万全の体制で臨みたいと考えています。

●苫小牧市の個別要望

- 1 **協定等の遵守はもとより、機体点検の徹底、訓練の安全管理、米軍人の規律維持などについて、市民の安全・安心のため、万全の体制で訓練を行うよう重ねてお願いしたい。**

《回答》

連絡会議としての要請にもありましたが、訓練の安全に関しては、日米を問わず、訓練に参加する戦闘機について、平素より定期整備、飛行前・飛行後点検等を適正に実施しており、十分な安全を確保していると承知しています。

当局としては、訓練移転の実施に際し、改めて航空機の更なる安全確保について、米側に求めてまいりたいと考えています。

また、規律の維持についても、防衛省として平素から米側に対し、隊員の教育や綱紀粛正の徹底を図る等、様々なレベルから申し入れを行っており、改めて当局からも米軍に申し入れを行います。

- 2 **新型コロナウイルスの感染が拡大している中での訓練のため、感染防止対策の徹底や感染症に関する情報提供を速やかに行うなど、市民の不安を払拭できるよう万全を期していただきたい。**

《回答》

防衛省としては、今回の訓練において、実効的な感染症防止対策を講じることにより、地元の皆様のご不安を払拭することが何よりも重要であると考えています。

今般の訓練に際し、具体的には以下の取り組みを実施する予定です。

- 今回の訓練には、米軍参加者全員がPCR検査を受診の上、陰性が確認された者のみが参加します。
- 任務上必要な場合を除き、基地及び宿泊先のホテル以外の場所へは外出しないこととしています。
- 新型コロナウイルス感染予防対策としてマスクの着用、ソーシャルディスタンスの確保、消毒の徹底等の必要な措置を講じます。

また、新型コロナウイルス感染症に関連する情報については、日米間の合意に基づき、地元保健当局に確実に情報提供するほか、地元自治体への情報提供についても適切に対応してまいります。

●苦小牧市の質問事項

1 米軍機における展開及び撤収の日程について教えていただきたい。

《回答》

訓練に参加する戦闘機の展開期間は、現時点において、8月21日から8月31日まで11日間の予定であると聞いています。

2 新型コロナウイルス感染症対策として、米軍の参加部隊にPCR検査で全員の陰性を確認することのだが、検査はどのタイミングで実施するのか確認したい。

《回答》

今回の訓練に参加する米軍参加者は、出発日の7日前以降に訓練参加者全員に対し、PCR検査を受診し、陰性が確認された者のみが参加する旨の説明を受けています。

当局としては、PCR検査の実施時期の決定については、米軍が本訓練参加にあたり、感染防止の観点から最も適切な時期を決定し、当該検査を実施すると承知しております。

3 訓練関係者に感染が確認された場合、地元保健当局に確実に情報提供することのだが、その連絡体制、対応フロー等について確認したい。

また、医療体制についても確認したい。

《回答》

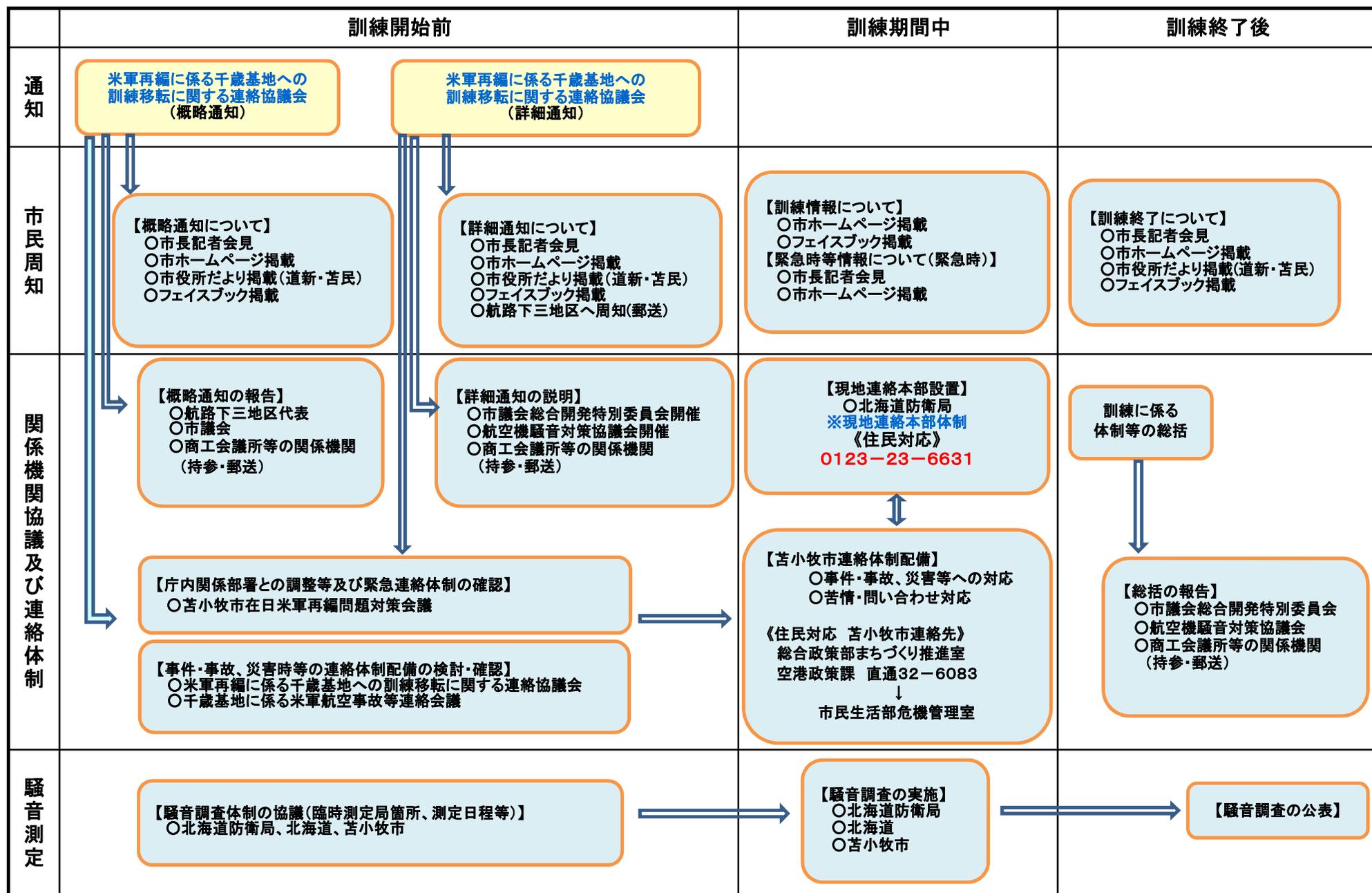
新型コロナウイルス感染症への対応については、公衆衛生の観点から、日米間の合意に基づき、米軍の医療機関と地元の保健所との間で、感染者の行動履歴の追跡など必要な情報共有を行い、感染拡大防止のために緊密に連携することを確認しています。

これまで、米側から適切に情報提供を受けてきており、今回の訓練についても同様の措置がとられることとなります。

訓練関係者が新型コロナウイルスに感染した場合、米側からお知らせできる情報が得られた場合は、現地連絡本部からも地元保健当局はもとより関係自治体等へ提供してまいります。

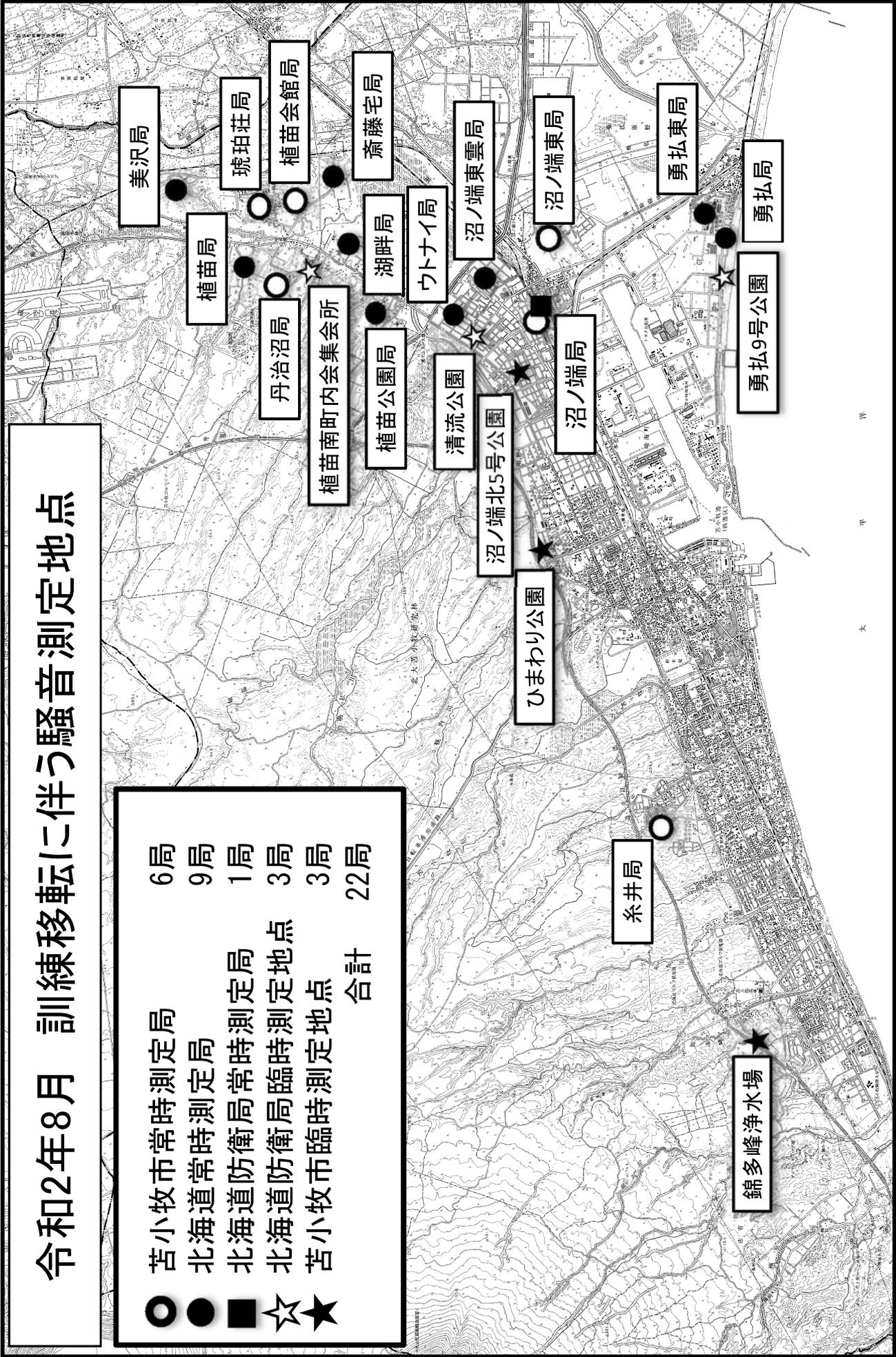
今回の訓練においては、米軍・自衛隊の双方において所要の医療・衛生体制を構築するとともに、地元の保健当局とも緊密な情報共有体制を構築する予定です。

米軍再編に係る千歳基地への訓練移転対応について



令和2年8月 訓練移転に伴う騒音測定地点

○	苫小牧市常時測定局	6局
●	北海道常時測定局	9局
■	北海道防衛局常時測定局	1局
☆	北海道防衛局臨時測定地点	3局
★	苫小牧市臨時測定地点	3局
	合計	22局



大 平 洋

◆ 米軍再編に係る各基地の訓練移転経過 ◆

年度	基地名	訓練期間	参加規模(米軍)	訓練タイプ	参加部隊	視察有無	備考	
18	計 画	タイプⅠ(1回につき1～5機の米軍機が1日～7日間参加):1回程度					H19.1.11通知、3月を目途にとし 回数不明記はないが1回と思われる	
	築 城	H19.3.5(月)～3.8(木)	F15×4機 54人	I	嘉手納	道の 連絡会議		
	計	築 城:1回		I:1回	嘉手納:1回	1基地派遣		
19	計 画	タイプⅠ(1回につき1～5機の米軍機が1日～7日間参加):1.2回程度 タイプⅡ(1回につき6～12機の米軍機が8日～14日間参加):3回程度					H19.1.31通知	
	小 松	H19.5.16(水)～5.23(水)	F15×5機 約80人	I	嘉手納	2名派遣	19日土曜・20日日曜の訓練は行われて いない。	
	築 城	H19.6.18(月)～6.22(金)	FA18×5機 39人	I	岩国	無		
	三 沢	H19.7.16(月)～7.21(土)	F15×5機 約80人 F16×4機	I	嘉手納 三沢	2名派遣	16日祝日・21日土曜の訓練は行われて いない	
	新田原	H19.9.3(月)～9.5(水)	F15×2機 14人	I	嘉手納	2名派遣		
	百 里	H19.10.15(月)～10.19(金)	F16×5機 77人	I	三沢	2名派遣		
	小 松	H19.11.5(月)～11.16(金)	F15×12機 約180人	Ⅱ	嘉手納	無	F15事故調査のため中止	
	百 里	H20.1.15(火)～1.18(金)	F16×5機 85人	I	三沢	無		
	新田原	H20.2.12(火)～2.15(金)	FA18×2機 4人	I	岩国	無		
	千 歳	H20.2.25(月)～2.28(木)	FA18×4機 13人	I	岩国	2名派遣	悪天候のため午前1回2日の訓練	
計	千 歳:1回 小 松:1回 三 沢:1回 築 城:1回 百 里:2回 新田原:2回 計:8回		I:8回 Ⅱ:0回	三 沢:3回 岩 国:3回 嘉手納:3回	5基地派遣			
20	計 画	タイプⅠ(1回につき1～5機の米軍機が1日～7日間参加): タイプⅡ(1回につき6～12機の米軍機が8日～14日間参加):併せて1.0回程度					H20.6.20通知	
	三 沢	H20.7.23(水)～7.30(水)	F15×6機 約80人	Ⅱ	嘉手納	2名派遣	26日土曜・27日日曜の訓練は行われて いない。	
	新田原	H20.9.2(火)～9.4(木)	F15×2機 18人	I	嘉手納	無		
	小 松	H20.12.1(月)～12.5(金)	F16×6機 約80人	Ⅱ	三沢	無		
	千 歳	H20.12.8(月)～12.12(金)	F15×5機 72人	I	嘉手納	2名派遣		
	新田原	H21.2.23(月)～2.27(金)	F15×5機 81人	I	嘉手納	無		
計	千 歳:1回 小 松:1回 三 沢:1回 築 城:0回 百 里:0回 新田原:2回 計:5回		I:3回 Ⅱ:2回	三 沢:1回 岩 国:0回 嘉手納:4回	2基地派遣			
21	計 画	タイプⅠ(1回につき1～5機の米軍機が1日～7日間参加):1.2回程度 タイプⅡ(1回につき6～12機の米軍機が8日～14日間参加):3回程度					H21.1.28通知	
	千 歳	H21.4.20(月)～4.23(木)	FA18×5機 32人	I	岩国	2名派遣		
	三 沢	H21.7.25(土)～8.1(土)	FA18×7機 約70人	Ⅱ	岩国	無	7/25・26・8/1の土日の訓練は行われ ていない。	
	百 里	H21.10.2(金)～10.9(金)	F15×5機 83人	I	嘉手納	無	機材の点検及び天候不良のため、訓練は 全て中止。テスト飛行1回のみ。	
	小 松	H21.11.14(土)～11.20(金)	FA18×7機 F16×5機 約180人	Ⅱ	①岩国 ②三沢	無	11/14・15の土日の訓練は行われて いない。	
	百 里	H22.1.29(金)～2.5(金)	F15×6機 87人	Ⅱ	嘉手納	無	1/30・31の土日の訓練は行われてい ない。	
	三 沢	H22.2.27(土)～3.12(金)	FA18×8機 約150人 F16×4機	Ⅱ	岩国	無	2/27・28、3/6・7の土日の訓練は行 われていない。 千歳基地F15が空域で訓練に参加	
	築 城	H22.3.5(金)～3.12(金)	F16×5機 約90人	I	三沢	無	3/6・7の土日の訓練は行われていな い。	
計	千 歳:1回 小 松:1回 三 沢:2回 築 城:1回 百 里:1回 新田原:0回 計:6回		I:2回 Ⅱ:4回	三 沢:2回 岩 国:4回 嘉手納:1回	1基地派遣			
22	計 画	タイプⅠ(1回につき1～5機の米軍機が1日～7日間参加) タイプⅡ(1回につき6～12機の米軍機が8日～14日間参加) タイプⅠ・Ⅱあわせて1.5回程度					H22.1.29通知	
	小 松	H22.6.5(土)～6.18(金)	FA18×10機 約180人	Ⅱ	岩国	無	6/12・13の土日の訓練は行われてい ない。	
	三 沢	H22.10.15(金)～10.23(土)	FA18×9機 約150人 (計画:10機 約160人)	Ⅱ	岩国	無	千歳基地F15が空域で訓練に参加 土日の訓練は行われていない。	
	千 歳	H22.11.8(月)～11.19(金)	F15×12機 約170人 (計画:12機 約190人)	Ⅱ	嘉手納	2名派遣	三沢基地F2が空域で訓練に参加。 土日の訓練は行われていない。	
	小 松	H22.12.1(水)～12.11(土)	F16×12機 約200人	Ⅱ	三沢	無	日米共同統合演習の一部として実施 されたため土日の訓練有り。	
計	千 歳:1回 小 松:2回 三 沢:1回 築 城:0回 百 里:0回 新田原:0回 計:4回		I:0回 Ⅱ:4回	三 沢:1回 岩 国:2回 嘉手納:1回	1基地派遣			

年度	基地名	訓練期間	参加規模(米軍)	訓練タイプ	参加部隊	視察有無	備考	
23	計画	下半期に5回程度を計画予定 そのうち、グアムへの訓練移転を2～3回程度を目標に計画予定					H23.10.4通知	
	築城	H23.7.8(金)～7.15(金)	F16×6機 約90人	II	三沢	無	7/9・10の土日の訓練は行われていない。	
	グアム	H23.10.10(月)～10.31(月) (実績:H23.10.10～10.28)	FA18×20機 約400人	グアム	岩国	無	嘉手納飛行場で実施予定であった2週間以上の訓練をグアムへ移転。	
	グアム	H23.12.1(木)～12.18(日) (実績:H23.12.5～12.19)	FA18×20機 約650人	グアム	岩国	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアムへ移転。	
	グアム	H24.2.6(月)～2.24(金)	F15×18機 約500人	グアム	嘉手納	無		
	計	千歳:0回 小松:0回 三沢:0回 築城:1回 百里:1回 新田原:0回 グアム:3回 計:5回		I:0回 II:2回 グアム:3回	三沢:1回 岩国:3回 嘉手納:1回	派遣無し		
24	計画	10回程度を計画予定 そのうち、グアムへの訓練移転を5回程度を目標に計画予定					H24.3.22通知	
	グアム	H24.5.14(月)～6.8(金)	FA18×20機 約600人	グアム	岩国	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアムへ移転。	
	千歳	H24.9.5(水)～9.7(金)	FA18×4機 約20人	I	岩国	2名派遣		
	グアム	H24.9.27(木)～10.25(木)	FA18×20機 約600人	グアム	岩国	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアムへ移転。	
	グアム	H24.11.29(木)～12.18(火)	FA18×20機 MV-22×4機 約880人	グアム	岩国	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアムへ移転。	
	新田原	H25.1.14(月)～1.18(金)	FA18×6機 約90人	II	岩国	無		
	グアム	H25.1.21(月)～1.30(水)	F16×14機 約190人	グアム	三沢	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアムへ移転。	
	計	千歳:1回 小松:0回 三沢:0回 築城:0回 百里:0回 新田原:1回 グアム:5回 計:7回		I:1回 II:1回 グアム:5回	三沢:1回 岩国:5回 嘉手納:1回	1基地派遣		
25	計画	グアム等への訓練移転を含み10回程度の実施を目標に計画予定					H25.3.27通知	
	新田原	H25.6.17(月)～6.21(金)	FA18×8機 約120人	II	岩国	無	台風接近のため17～19日で終了	
	千歳	H25.7.8(月)～7.12(金)	F16×6機 約80人	II	三沢	1名派遣		
	グアム	H25.7.10(水)～8.2(金)	FA18×20機 約550人	グアム	岩国	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転。	
	グアム	H25.8.12(月)～8.23(金)	F15×18機 約340人	グアム	嘉手納	無	嘉手納飛行場の訓練をグアム等へ移転。	
	グアム	H25.10.28(月)～11.8(金)	F16×14機 約190人	グアム	三沢	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転。	
	グアム	H25.12.2(月)～12.20(金)	FA18×20機 MV-22×4機 約1,120人	グアム	岩国	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転。	
	グアム	H25.12.2(月)～12.20(金)	F15×14機 FA18×6機 約290人	グアム	嘉手納	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転。	
	小松	H25.12.7(土)～12.14(土)	F15×6機 約90人	II	嘉手納	無	悪天候のため9日、11日のみ実施	
	グアム	H26.2.10(月)～2.28(金)	F16×12機 約260人	グアム	三沢	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転。	
	計	千歳:1回 小松:1回 三沢:0回 築城:0回 百里:0回 新田原:1回 グアム:7回 計:10回		I:0回 II:3回 グアム:7回	三沢:3回 岩国:3回 嘉手納:4回	1基地派遣		

年度	基地名	訓練期間	参加規模(米軍)	訓練タイプ	参加部隊	視察有無	備考	
26	計 画	グアム等への訓練移転を含み10回程度の実施を目標に計画予定					H26.3.28通知	
	三 沢	H26.6.12(木)～6.24(火)	FA18×10機 約180人	II	岩国	無	千歳基地F15が戦闘機戦闘訓練及び空対地射撃訓練に参加。	
	グアム	H26.6.19(木)～7.10(木)	F15×16機 約320人	グアム	嘉手納	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転。	
	グアム	H26.9.5(金)～9.26(金)	F15×16機 約320人	グアム	嘉手納	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転。	
	グアム	H26.9.15(月)～10.7(火)	FA18×16機 MV22×4機 約1,140人	グアム	岩国	無	岩国飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転。	
	新田原	H26.10.18(土)～10.31(金)	F15×12機 約200人	II	嘉手納	無		
	小 松	H26.11.7(金)～11.20(木)	F16×8機 約140人	II	三沢	無		
	グアム	H26.12.3(水)～12.19(金)	F15×18機 約400人	グアム	嘉手納	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転。	
	グアム	H27.2.2(月)～2.28(金)	F16×14機 約400人	グアム	三沢	無	三沢飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転。	
	グアム	H27.2.9(月)～2.28(金)	F15×18機 約410人	グアム	嘉手納	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転。	
	百 里	H27.3.9(月)～3.21(土)	FA18×5機 約60人	II	岩国	無		
計	千歳:0回 小松:1回 三沢:1回 築城:0回 百里:1回 新田原:1回 グアム:6回 計:10回		I:0回 II:4回 グアム:6回	三沢:2回 岩国:3回 嘉手納:5回	派遣無し			
27	計 画	グアム等への訓練移転を含み10回程度の実施を目標に計画予定					H27.3.25通知	
	グアム	H27.7.13(月)～8.7(金)	FA18×10機 約240人	グアム	岩国	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転。	
	グアム	H27.8.17(月)～9.4(金)	FA18×10機 約260人	グアム	岩国	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転。	
	築 城	H27.8.21(金)～9.3(木)	F15×12機 約190人	II	嘉手納	無		
	百 里	H27.9.7(月)～9.18(金)	FA-18×5機 約80人	II	岩国	無		
	グアム	H27.9.11(金)～10.8(木)	FA-18×10機 EA-18×5機 約440人	グアム	岩国 三沢	無	岩国飛行場及び三沢飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転。	
	三 沢	H27.12.1(火)～12.18(金)	F-15×12機 約300人	II	嘉手納	無	千歳基地F15が戦闘機戦闘訓練に参加。	
	グアム	H27.12.2(水)～12.18(金)	FA-18×10機 EA-6B×5機 約420人	グアム	岩国	無	岩国飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転。	
	新田原	H27.12.8(火)～12.11(金)	F-15×4機 約50人	I	嘉手納	無		
	千 歳	H28.1.12(火)～1.22(金)	FA-18×5機 約70人	II	岩国	1名派遣		
	グアム	H28.2.1(月)～2.28(日)	F-16×14機 約280人	グアム	三沢	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転。	
	グアム	H28.2.7(日)～2.28(日)	F-15×18機 約460人	グアム	嘉手納	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転。	
	小 松	H28.3.7(月)～3.18(金)	FA-18×6機 約70人	II	岩国	無		
計	千歳:1回 小松:1回 三沢:1回 築城:1回 百里:1回 新田原:1回 グアム:6回 計:12回		I:1回 II:5回 グアム:6回	三沢:2回 岩国:7回 嘉手納:4回	1基地派遣			

年度	基地名	訓練期間	参加規模(米軍)	訓練タイプ	参加部隊	視察有無	備考	
28	計 画	グアム等への訓練移転を含み10回程度の実施を目標に計画予定					H28. 4. 4通知	
	グアム	H28. 7. 19(火)～8. 12(金)	EA-18G×5機 約190人	グアム	三沢	無	三沢飛行場で実施予定であった訓練をグアム等への移転	
	小 松	H28. 7. 25(月)～7. 29(金)	F-15×5機 約90人	I	嘉手納	無		
	グアム	H28. 9. 8(木)～9. 23(金)	F-15×5機 EA-18G×5機 約400人	グアム	嘉手納 三沢	無	嘉手納飛行場及び三沢飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転	
	グアム	H28. 9. 8(木)～9. 27(火)	F-15×12機 約340人	グアム	嘉手納	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転	
	千 歳	H28. 12. 5(月)～12. 16(金)	AV-8B×4機 約90人	II	岩国	1名派遣		
	グアム	H29. 2. 15(水)～3. 3(金)	F-15×12機 FA-18×8機 約700人	グアム	嘉手納 岩国	無	嘉手納飛行場及び岩国飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転	
	グアム	H29. 2. 15(水)～3. 3(金)	F-16×14機 EA-18×6機 約440人	グアム	三沢	無	三沢飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転	
計	千歳:1回 小松:1回 三沢:0回 築城:0回 百里:0回 新田原:0回 グアム:5回 計:7回		I:1回 II:1回 グアム:5回	三沢:3回 岩国:2回 嘉手納:4回	1基地派遣			
29	計 画	グアム等への訓練移転を含み10回程度の実施を目標に計画予定					H29. 3. 29通知	
	グアム	H29. 4. 20(木)～5. 8(月)	F-15×14機 約270人	グアム	嘉手納	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転	
	三沢	H29. 7. 7(金)～7. 14(金)	F-15×6機 約160人	II	嘉手納	無		
	百里	H29. 7. 7(金)～7. 21(金)	FA-18×6機 約140人	II	岩国	無		
	築城	H29. 9. 30(土)～10. 7(土)	F-16×6機 約100人	II	三沢	無		
	新田原	H30. 1. 19(金)～1. 26(金)	F-15×6機 約140人	II	嘉手納	無	米軍の運用上の都合(火山活動が飛行の安全に影響を及ぼす可能性があるため)中止	
	百里	H30. 1. 22(月)～1. 26(金)	F-16×5機 約100人	I	三沢	無	米軍の運用上の都合(米政府の予算措置の関係上)により中止	
	グアム	H30. 2. 8(木)～3. 6(火)	F-15×12機 FA-18×8機 約660人	グアム	嘉手納 岩国	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転	
	グアム	H30. 2. 12(月)～3. 9(金)	F-16×14機 約300人	グアム	三沢	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転	
計	千歳:0回 小松:0回 三沢:1回 築城:1回 百里:1回 新田原:0回 グアム:3回 計:6回		I:0回 II:3回 グアム:3回	三沢:2回 岩国:2回 嘉手納:3回	0基地派遣			
30	計 画	グアム等への訓練移転を含み10回程度の実施を目標に計画予定					H30. 3. 16通知	
	百里	H30. 4. 6(金)～4. 12(木)	FA-18×5機 約60人	I	岩国	無		
	千歳	H30. 4. 23(月)～4. 27(金)	F-16×6機 約100人	II	三沢	1名派遣		
	三沢	H30. 5. 9(水)～5. 24(木)	F-35×8機 約140人	II	岩国	無		
	小松	H30. 7. 16(月)～7. 20(金)	F-15×6機 約120人	II	嘉手納	無		
	グアム	H30. 9. 4(火)～9. 30(日)	F-15×12機 EA-18×5機 約500人	グアム	嘉手納 三沢	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転	
	グアム	H30. 9. 4(火)～9. 30(日)	FA-18×10機 F-35×8機 約960人	グアム	岩国	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転	
	グアム	H30. 9. 10(月)～9. 21(金)	F-15×12機 約290人	グアム	嘉手納	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転	
	新田原	H30. 10. 27(土)～11. 8(木)	F-15×8機 約140人	II	嘉手納	無		
	築城	H30. 11. 5(月)～11. 8(木)	F-16×6機 約80人	II	三沢	無		
	グアム	H31. 2. 11(月)～3. 7(木)	F-16×14機 約310人	グアム	三沢	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転	
	グアム	H31. 2. 13(水)～3. 12(火)	F-15×12機 FA-18×10機 約670人	グアム	嘉手納 岩国	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転	
	グアム	H31. 3. 11(月)～3. 29(金)	FA-18×17機 約400人	グアム	岩国	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転	
計	千歳:1回 小松:1回 三沢:1回 築城:1回 百里:1回 新田原:1回 グアム:6回 計:12回		I:1回 II:5回 グアム:6回	三沢:4回 岩国:5回 嘉手納:5回	1基地派遣			

年度	基地名	訓練期間	参加規模(米軍)	訓練タイプ	参加部隊	視察有無	備考	
令和 元年度	計 画	グアム等への訓練移転を含み10回程度の実施を目標に計画予定					H31.3.25通知	
	グアム	H31.4.22(月)～4.27(土)	F-15×6機 F-16×6機 約270人	グアム	嘉手納 三沢	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転	
	グアム	R1.6.3(月)～6.28(金)	FA-18×10機 約200人	グアム	岩国	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転	
	小松	R1.10.1(火)～10.4(金)	F-16×6機 約100人	II	三沢	無		
	三沢	R1.10.10(木)～11.4(月)	FA-18×12機 約170人	II	岩国	無	土日祝並びに10/10、11、28日は訓練は行われていない。	
	グアム	R2.1.27(月)～2.6(木)	F-15×12機 約210人	グアム	嘉手納	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転	
	グアム	R2.1.31(金)～3.6(金)	F-16×14機 EA-18×5機 約430人	グアム	三沢	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転 訓練は期間中において週4日実施	
	グアム	R2.2.4(火)～3.11(水)	F-15×12機 FA-18×10機 E-3×2機 KC-135×2機 約680人	グアム	嘉手納 岩国	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転 訓練は期間中において週4日実施	
	グアム	R2.3.2(月)～3.26(木)	FA-18×16機、EA-18×3機 E-2D×4機 約510人	グアム	岩国	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転 訓練は期間中において週5日実施	
	グアム	R2.3.6(金)～3.31(火)	FA-18×16機、EA-18×3機 約430人	グアム	岩国	無	嘉手納飛行場で実施予定であった訓練をグアム等へ移転 訓練は期間中において週5日実施	
	計	千歳:0回 小松:1回 三沢:1回 築城:0回 百里:0回 新田原:0回 グアム:7回 計:9回		I:0回 II:2回 グアム:7回	三沢:3回 岩国:5回 嘉手納:3回			
2 年度	計 画	グアム等への訓練移転を含み10回程度の実施を目標に計画予定					R2.3.30通知	
	千歳	R2.8.24(月)～8.28(金)	F-15×6機 F-16×6機 約200人	II	嘉手納 三沢	1名派遣		
	計	千歳:1回 小松:0回 三沢:0回 築城:0回 百里:0回 新田原:0回 グアム:0回 計:1回		I:0回 II:1回 グアム:0回	三沢:1回 岩国:0回 嘉手納:1回	1基地派遣		